

証券コード6859

エスペック株式会社

2020年度(2021年3月期)
決算説明

2021年5月25日

代表取締役社長 石田 雅昭

決算総括

2020年度は、受注は第3四半期以降、回復基調となるも
前期比で減収減益、21年2月発表の修正予想は上回る

	前期比	予想比(2021年2月修正)
■ 受注高	× すべての事業が減少	○ 装置事業(環境試験器)とサービス事業により上回る
■ 売上高	× 装置事業(環境試験器・エネルギーデバイス装置)とサービス事業が減少	○ すべての事業が上回る
■ 営業利益	× 減収により減少	○ 売上高の増加と原価率の改善により上回る
■ 経常利益 当期純利益※	× 営業利益の減少により減少	○ 営業利益の増加により上回る

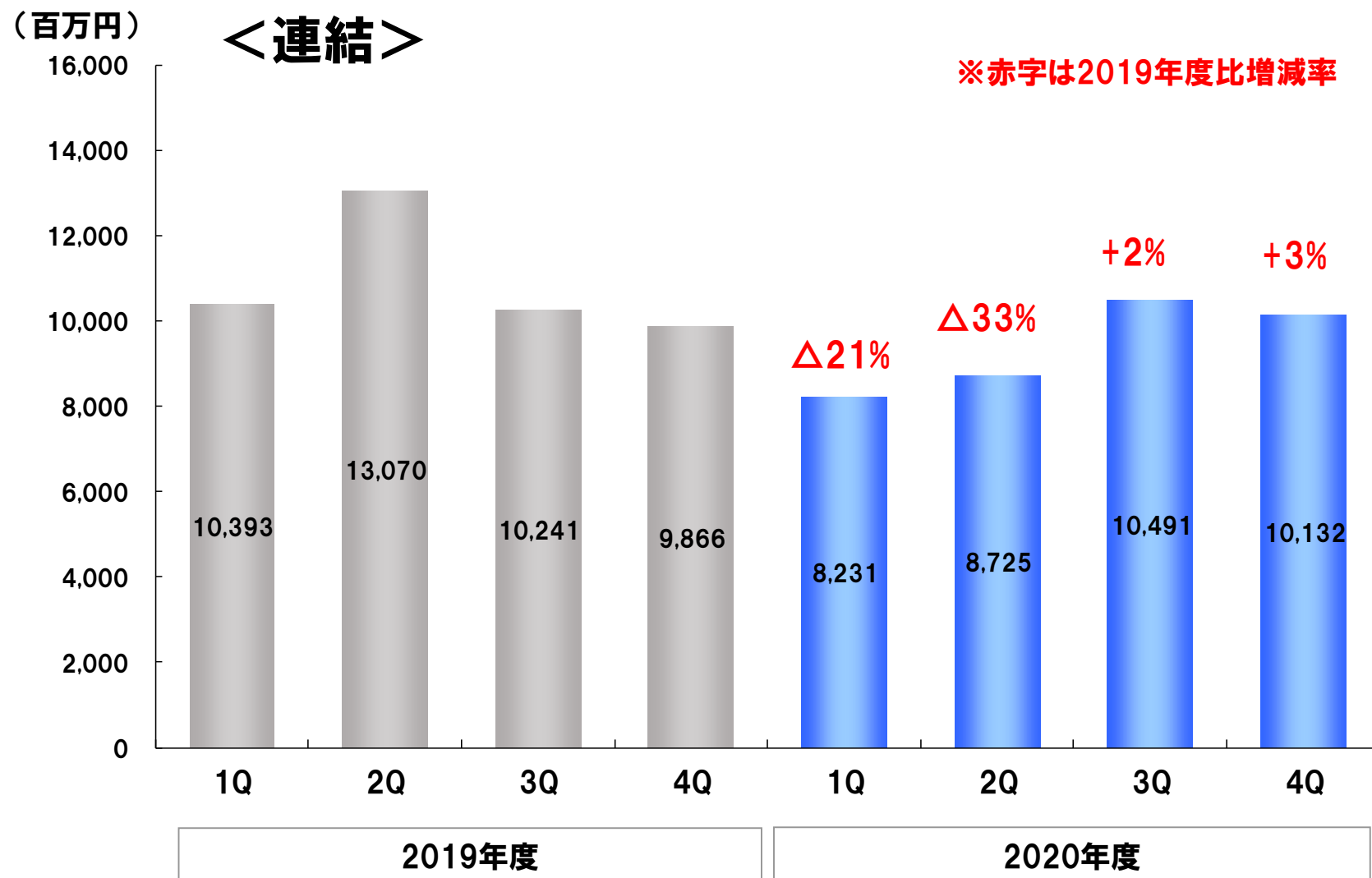
※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 1株当たり配当金は、中間配当金は10円、

期末配当金は38円から41円に上方修正し、年間では51円を予定

2020年度よりESPEC EUROPE(ドイツ)とESPEC ENGINEERING (THAILAND) を連結の範囲に含めています。

2020年度 四半期別受注高推移



損益の状況

(百万円)

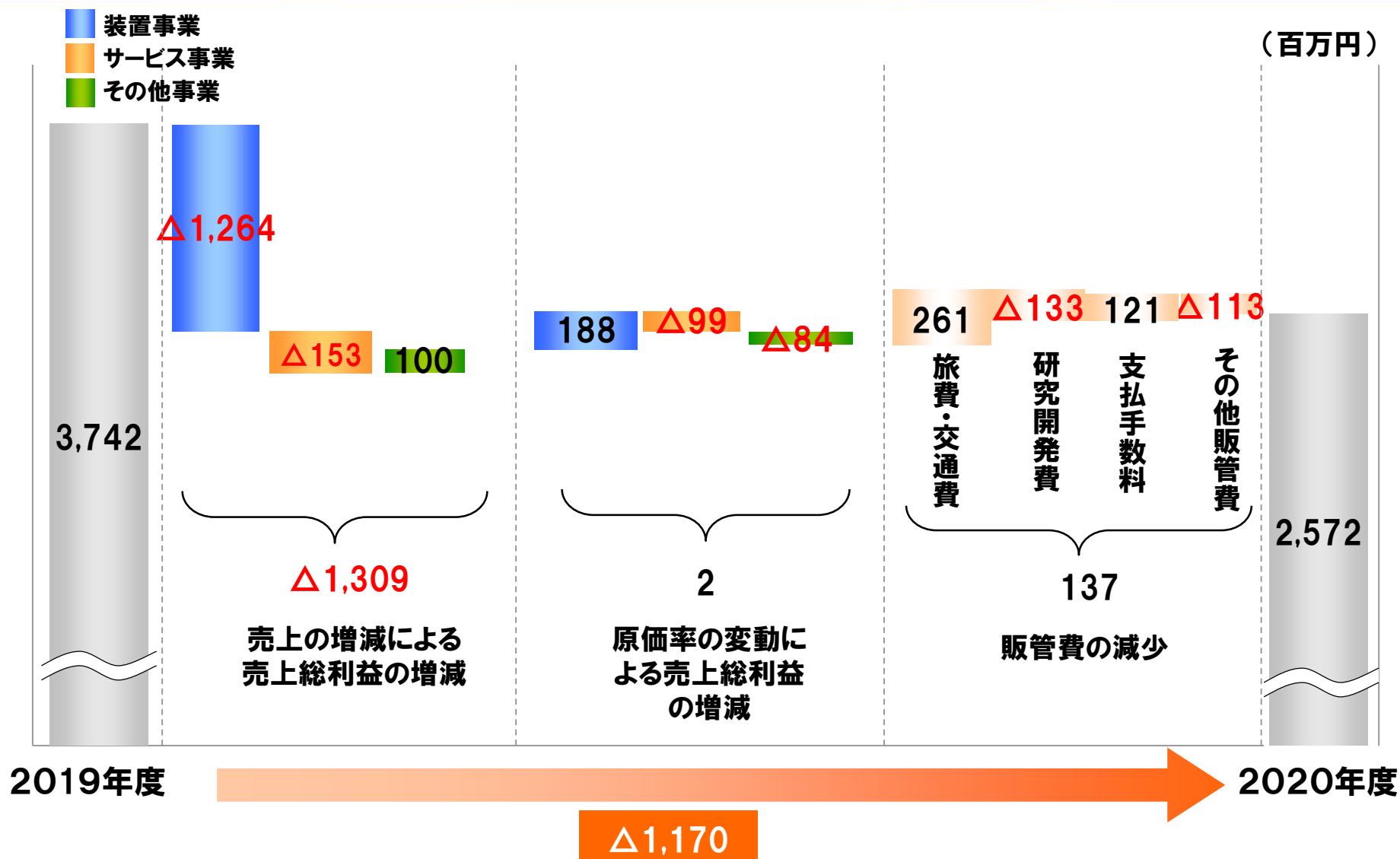
	2019年度 実績	2020年度 予想(21年2月)	2020年度 実績	前期比	予想比
受注高	43,571	36,000	37,580	△13.8%	4.4%
売上高	42,443	37,500	38,668	△8.9%	3.1%
売上原価 (原価率)	27,724 (65.3%)	24,856 (66.3%)	25,255 (65.3%)	△8.9% (変化なし)	1.6% (1pt改善)
売上総利益	14,719	12,644	13,412	△8.9%	6.1%
販管費	10,976	10,644	10,839	△1.2%	1.8%
営業利益	3,742	2,000	2,572	△31.3%	28.6%
経常利益	3,933	2,100	2,840	△27.8%	35.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,818	1,400	1,961	△30.4%	40.1%

セグメント別の損益の状況

(百万円)

セグメント		2019年度 実績	2020年度 予想(21年2月)	2020年度 実績	前期比	予想比
装置事業	受注高	34,682	29,250	30,755	△11.3%	5.1%
	売上高	34,361	29,650	30,669	△10.7%	3.4%
	営業利益	3,041	1,614	2,062	△32.2%	27.8%
サービス事業	受注高	6,378	6,000	6,153	△3.5%	2.6%
	売上高	6,459	6,000	6,063	△6.1%	1.1%
	営業利益	646	365	446	△30.9%	22.2%
その他事業	受注高	2,715	1,000	976	△64.0%	△2.4%
	売上高	1,831	2,100	2,241	22.4%	6.7%
	営業利益	49	21	60	22.4%	185.7%
連結消去	受注高	△203	△250	△304	-	-
	売上高	△208	△250	△305	-	-
	営業利益	4	0	3	-	-
計	受注高	43,571	36,000	37,580	△13.8%	4.4%
	売上高	42,443	37,500	38,668	△8.9%	3.1%
	営業利益	3,742	2,000	2,572	△31.3%	28.6%

営業利益の増減要因分析



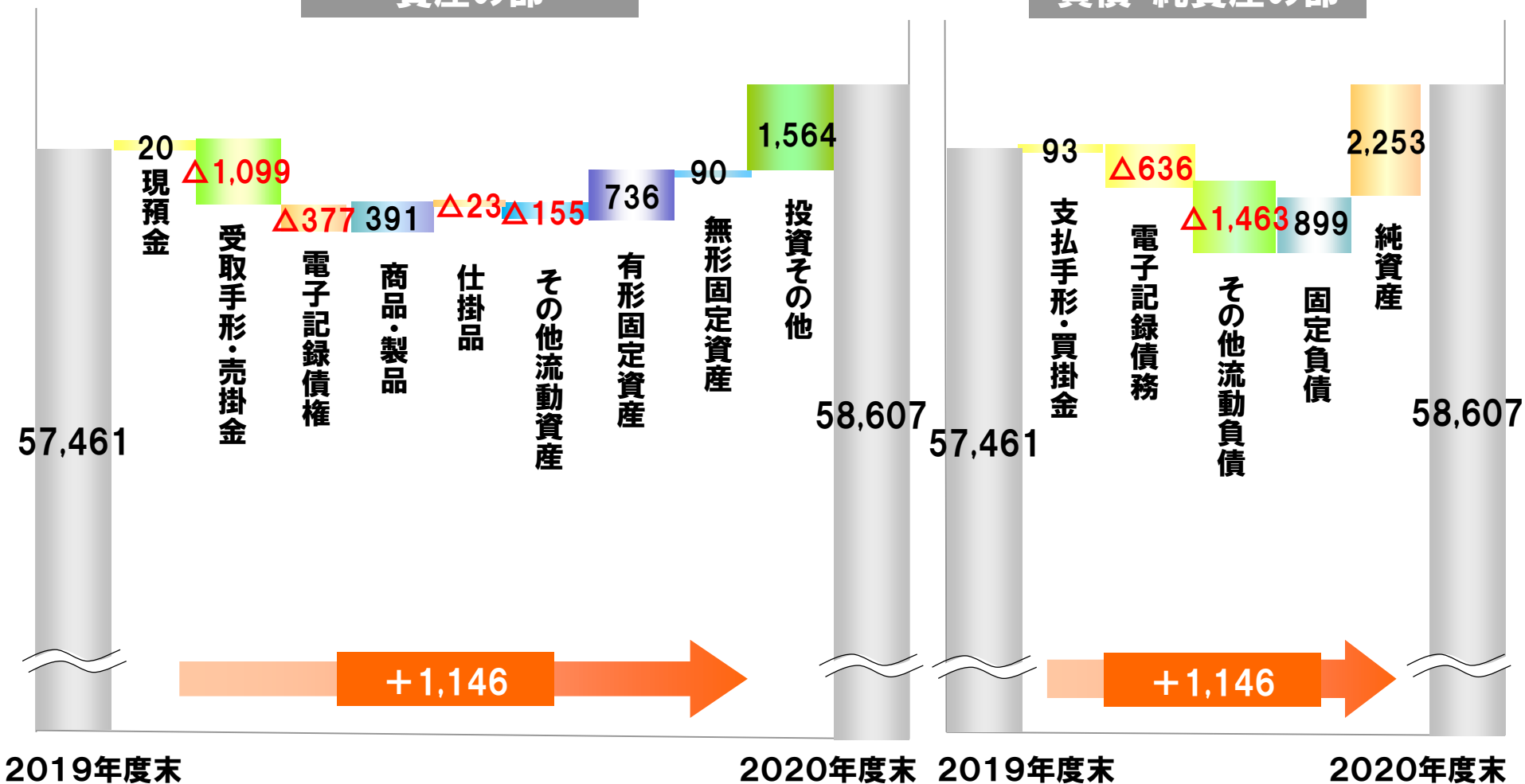
※合計値は全体の売上総利益率を用いて算出しています。

資産・負債の状況

(百万円)

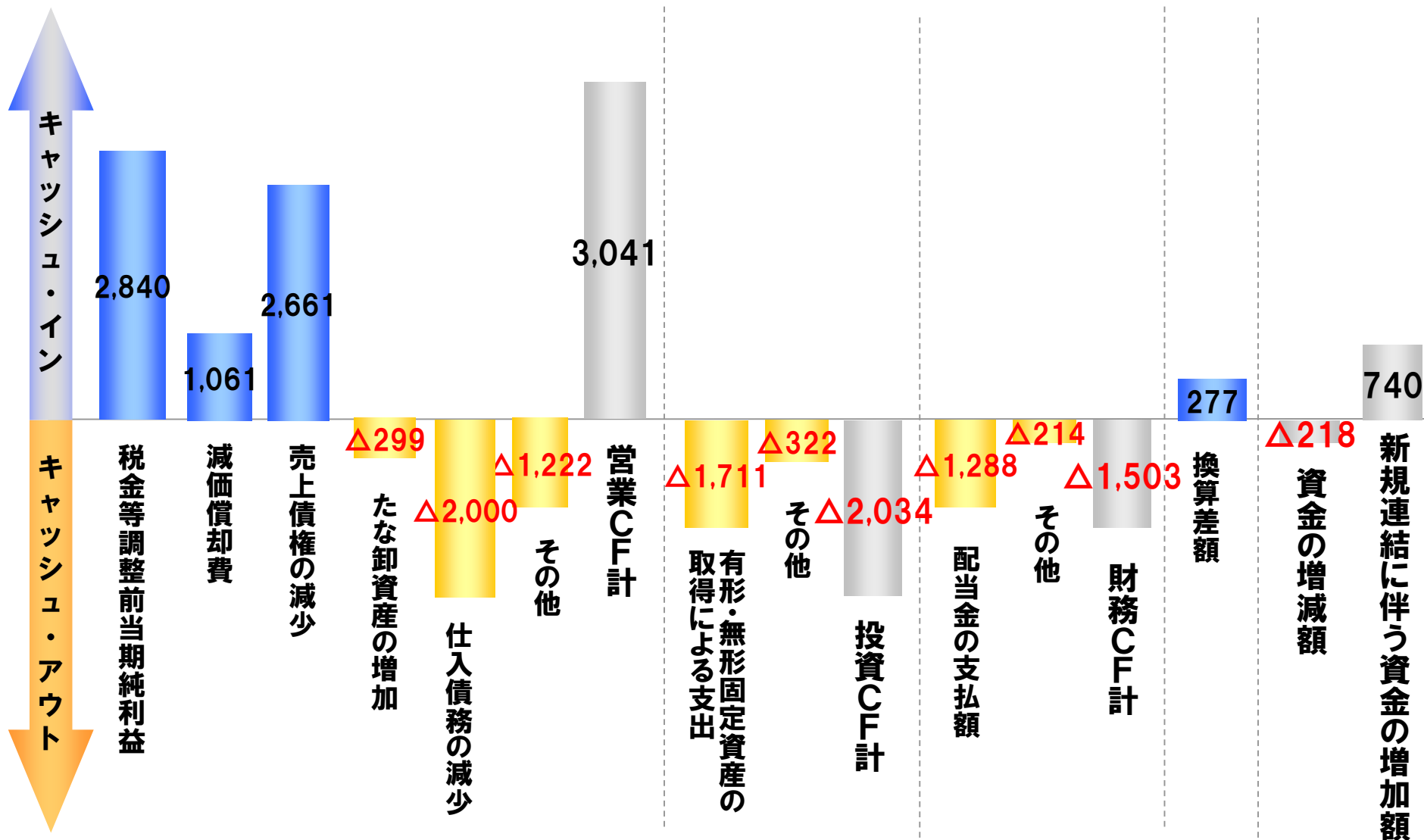
資産の部

負債・純資産の部



キャッシュフローの状況

(百万円)



装置事業セグメント

(百万円)

	2019年度 実績	2020年度 予想(21年2月)	2020年度 実績	前期比	予想比
受注高	34,682	29,250	30,755	△11.3%	5.1%
売上高	34,361	29,650	30,669	△10.7%	3.4%
営業利益 [利益率(%)]	3,041 [8.9%]	1,614 [5.4%]	2,062 [6.7%]	△32.2%	27.8%

環境試験器

- 国内では、市況は回復傾向ではあるが
汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに受注高・売上高は前期比で減少
- 海外では、中国、東南アジアの売上高は前期比で増加したが、米国、欧州などは減少

エナジーデバイス装置

- 二次電池評価装置、燃料電池評価装置いずれも低調に推移し、受注高・売上高ともに減少

半導体関連装置

- 主にメモリ関連の投資が継続したが、受注高は前期比で減少
売上高は、前第4四半期受注の大型案件の売上計上により増加

サービス事業セグメント

(百万円)

	2019年度 実績	2020年度 予想(21年2月)	2020年度 実績	前期比	予想比
受注高	6,378	6,000	6,153	△3.5%	2.6%
売上高	6,459	6,000	6,063	△6.1%	1.1%
営業利益 [利益率(%)]	646 [10.0%]	365 [6.1%]	446 [7.4%]	△30.9%	22.2%

アフターサービス・エンジニアリング

- 第2四半期以降回復し、受注高・売上高ともに前期並み

受託試験・レンタル

- 主に受託試験が低調に推移し、前期比で受注高・売上高ともに減少

その他事業セグメント

(百万円)

	2019年度 実績	2020年度 予想(21年2月)	2020年度 実績	前期比	予想比
受注高	2,715	1,000	976	△64.0%	△2.4%
売上高	1,831	2,100	2,241	22.4%	6.7%
営業利益 [利益率(%)]	49 [2.7%]	21 [1.0%]	60 [2.7%]	22.4%	185.7%

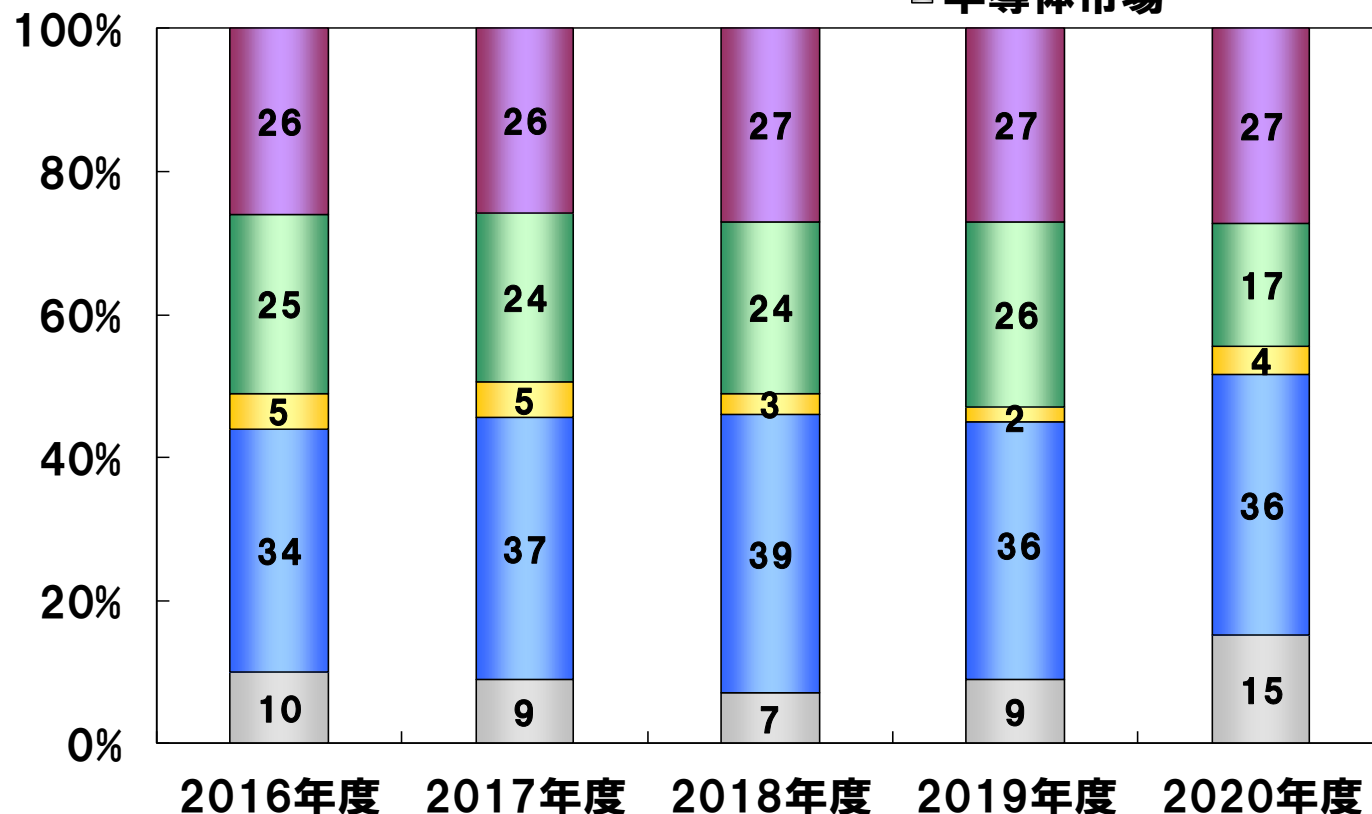
環境保全・植物育成装置

- 環境保全事業および植物工場ともに低調に推移し、受注高は前期比で減少
売上高は前期受注の植物工場の大型案件の売上計上により増加

市場別売上構成比

単 体 (装置事業)

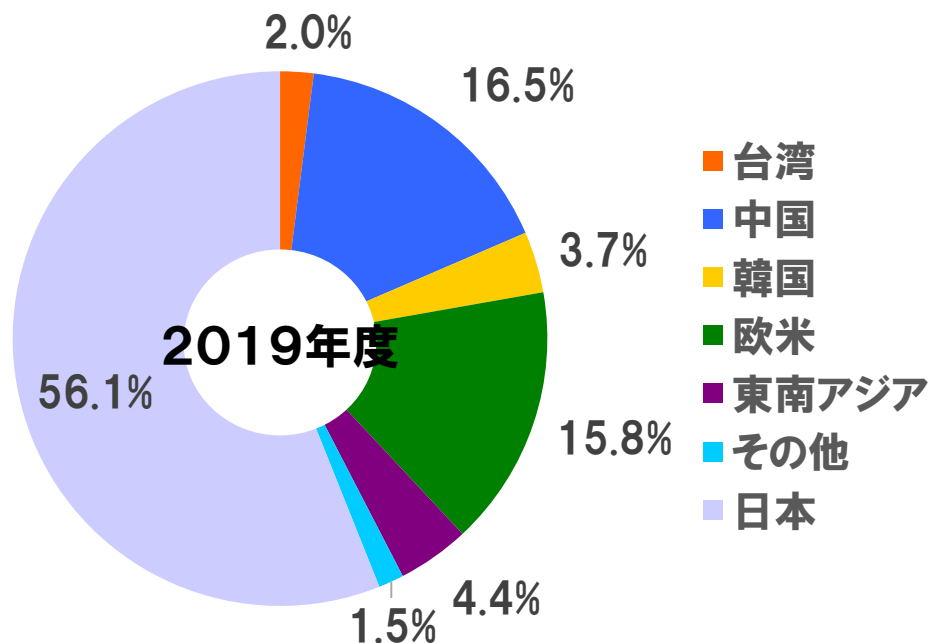
- その他市場
- 自動車市場
- フラットパネルディスプレイ市場
- 電子部品・電子機器市場
- 半導体市場



地域別売上構成比

2019年度

海外売上高比率:43.9%

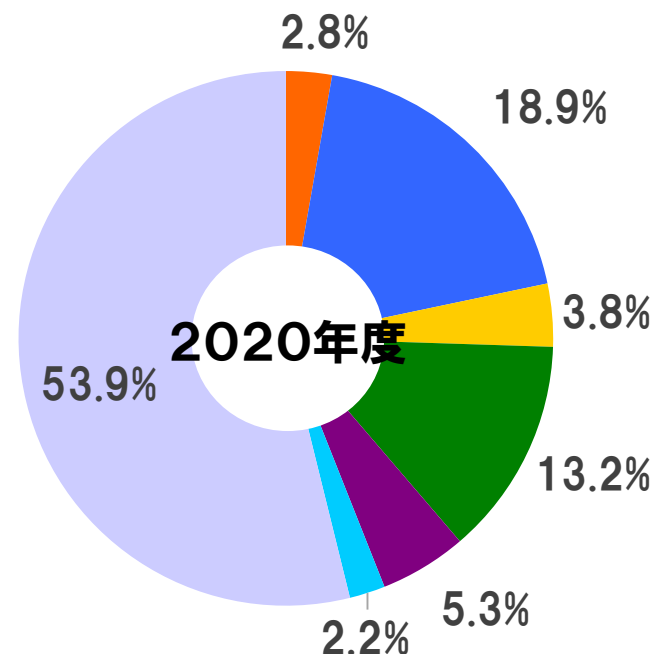


計 42,443百万円

(海外売上高:18,652百万円)

2020年度

海外売上高比率:46.1%



計 38,668百万円

(海外売上高:17,845百万円)

2021年度 業績予想

9)

	2019年度	2020年度	2021年度			
	通期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	前期比
受注高	43,571	37,580	20,000	23,000	43,000	14.4%
売上高	42,443	38,668	18,500	22,500	41,000	6.0%
売上総利益 [利益率(%)]	14,719 [34.7%]	13,412 [34.7%]	6,500 [35.1%]	7,800 [34.7%]	14,300 [34.9%]	6.6%
販管費 [販管費率(%)]	10,976 [25.9%]	10,839 [28.0%]	5,301 [28.7%]	5,700 [25.3%]	11,000 [26.8%]	1.5%
営業利益 [利益率(%)]	3,742 [8.8%]	2,572 [6.7%]	1,200 [6.5%]	2,100 [9.3%]	3,300 [8.0%]	28.3%
経常利益 [利益率(%)]	3,933 [9.3%]	2,840 [7.3%]	1,250 [6.8%]	2,150 [9.6%]	3,400 [8.3%]	19.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益 [利益率(%)]	2,818 [6.6%]	1,961 [5.1%]	750 [4.1%]	1,650 [7.3%]	2,400 [5.9%]	22.3%
設備投資額	2,671	1,179	560	490	1,050	△10.9%
減価償却費	891	1,041	530	550	1,080	3.7%
研究開発費	1,169	1,302	490	400	890	△31.6%
1株当たり当期純利益(円)	123.26	85.79	32.80	72.16	104.96	22.3%

中期経営計画の最終年度である2021年度業績予想は、当初目標では売上高520億円、営業利益52億円、営業利益率10%としておりましたが、上記のとおり見直しております

環境認識

- ・事業環境は回復基調、先端技術分野(5G・IoT、電動化・自動運転)を中心に中国・日本で受注拡大を目指す
- ・米中摩擦や新型コロナウイルス感染再拡大による影響を懸念

装置事業	環境試験器	日本 : 5G・IoT市場は引き続き好調 自動車も電動化・自動運転向けは回復基調 中国 : 5G・IoT市場を中心に好調 自動車も電動化・自動運転向けは回復基調 ASEAN : 半導体を中心に緩やかな回復を見込む 米国 : 自動車に加え半導体関連の投資を見込む 欧州 : 自動車を中心に回復を見込む
	エナジーデバイス装置	二次電池、燃料電池向けともに緩やかな回復を見込む
	半導体関連装置	5G・IoT市場の投資が引き続き堅調
サービス事業	アフター・エンジ 受託試験・レンタル	アフター・エンジ : 前期と同水準となると予想 受託試験 : 5G・IoT、バッテリー関連を中心に回復基調
その他事業	環境保全 植物育成装置	環境保全事業および植物工場ともに回復基調と見るが植樹祭の再延期などの影響を懸念

セグメント別の業績予想

		2019年度	2020年度	2021年度 (百万円)			
		通期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	前期比
装置事業	受注高	34,682	30,755	16,500	18,500	35,000	13.8%
	売上高	34,361	30,669	15,150	18,250	33,400	8.9%
	営業利益	3,041	2,062	1,100	1,720	2,820	36.7%
サービス事業	受注高	6,378	6,153	3,100	3,400	6,500	5.6%
	売上高	6,459	6,063	2,950	3,350	6,300	3.9%
	営業利益	646	446	150	300	450	0.9%
その他事業	受注高	2,715	976	550	1,250	1,800	84.4%
	売上高	1,831	2,241	550	1,050	1,600	△28.6%
	営業利益	49	60	△50	80	30	△50.0%
連結消去	受注高	△203	△304	△150	△150	△300	—
	売上高	△208	△305	△150	△150	△300	—
	営業利益	4	3	0	0	0	—
計	受注高	43,571	37,580	20,000	23,000	43,000	14.4%
	売上高	42,443	38,668	18,500	22,500	41,000	6.0%
	営業利益	3,742	2,572	1,200	2,100	3,300	28.3%

2021年度の主な取り組み

装置事業

- ・5G・IoT市場をターゲットとしたグローバルマーケティング展開による販売拡大
- ・中国での5G・IoT、半導体、NEV(新エネ車)を中心とするマーケティング強化
- ・国内でのカスタム対応の強化や環境因子技術の拡充による販売拡大

サービス事業

アフターサービス:ITを活用した新サービスメニューの投入

受託試験 :5G・IoT、バッテリー関連を中心とする販売拡大

新規事業

新型コロナワクチンなどの輸送・保管分野における販売拡大

ESGの取り組み

E :第7次環境中期計画の推進と次期環境中期計画の策定

S :多様な人材、中核的人材の獲得と育成

G :ガバナンス体制の強化

投資計画など

戦略投資	1.0億円
通常投資	9.5億円
設備投資 合計	10.5億円

研究開発費	8.9億円
-------	-------

■株式取得による連結子会社化について(5月14日 決算短信)

被取得企業名:エスペクサーマルテックシステム株式会社(予定)

事業内容:精密チラー・空調機、環境試験装置、カスタム製品(チラー・空調)の製造・販売

企業結合日:2021年7月20日(予定)

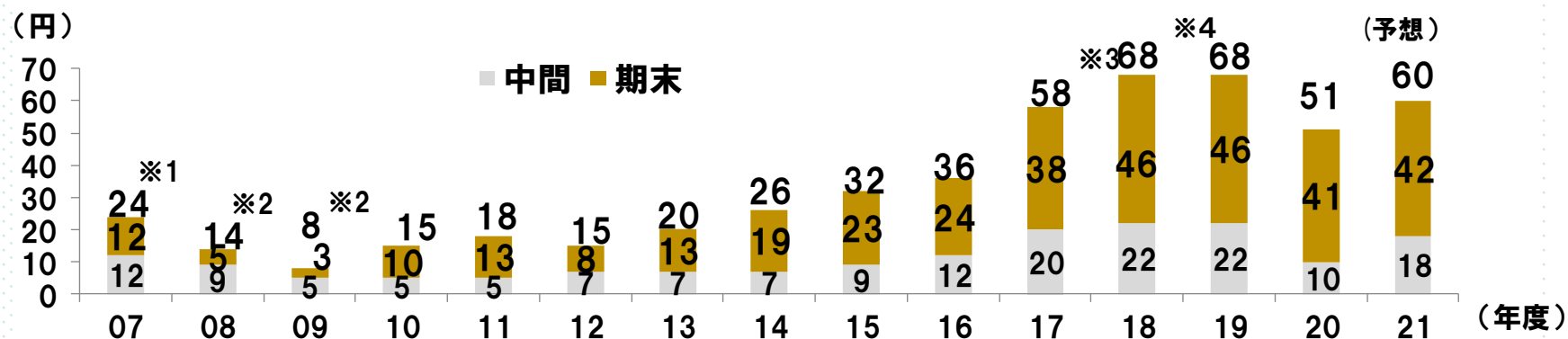
※2021年度業績予想に本件による影響は織り込んでおりません。精査でき次第、開示いたします。

2021年度 配当予想

利益配分に関する基本方針

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題と認識するとともに、永続的な企業価値の向上が株主価値向上の基本であると考えております。配当につきましては、継続性と連結配当性向を勘案して決定しております。

一株当たり配当金と配当性向



配当性向

47% — — 21% 22% 29% 30% 29% 31% 37% 40% 36%※4 55% 59% 57%

※1.2007年度は創業60周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2008・2009年度は当期純損失ながら配当を実施

※3.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※4.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

ESGの主な取り組み

■E(環境)

- ・当社グループ全体における電力使用量の約70%を再生可能エネルギーに切り替え
受託試験サービス100%再生可能エネルギーに切り替え(2020年1月～2021年4月)
- ・CDP気候変動質問書に初めて自主回答しBスコア(2020年12月)

■S(社会)

- ・ワクチン用保冷庫の発売と無償貸し出しの実施(2021年4月～)
- ・従業員参加型の寄付制度「エスペックスマイルクラブ」を設置(2020年12月)

■G(ガバナンス)

- ・任意の指名報酬諮問委員会の構成員を増員(2021年3月)

TOPICS

(2021年2月)

世界初「全天候型試験ラボ」オープン 地球上のさまざまな気象環境を再現

- ・7つの環境因子(温度、湿度、雪、霧、雨、光、風)を高精度に制御・可変、動的気象環境※を再現
- ・最先端技術の課題解決への貢献と、環境創造技術の高度化を目指す

※刻々と変化する気象環境(みぞれ⇒雪、雨⇒霧など)



左上：降雪試験 右上：霧試験



左：全天候型試験ラボ外観
試験室内法 幅6m×奥行9m×高さ3m

(2021年4月)

新型コロナワクチン「定温輸送保冷库」 発売開始/無償貸し出しを実施

- ・振動に強く、省電力、ポータブルで医薬品倉庫から医療機関への小口輸送に最適
- ・本製品および既存品を急遽改良した「超低温小型保冷库」を全国地方自治体に無償貸し出し



定温輸送保冷库

温度範囲：-20℃～+40℃

外形寸法：幅442×奥行284×高さ398mm

社外からの評価

2021年2月

- ・サステナビリティレポートが環境コミュニケーション大賞「優良賞」を受賞
(環境省、地球・人間環境フォーラム主催)



2020年12月

- ・今年度初めてCDP気候変動質問書への自主回答を行い「Bスコア」に認定
- ・日興アイ・アール「2020年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」
優秀サイトに選定
- ・モーニングスター株式会社「Gomez IRサイトランキング2020」
銅賞を受賞(業種別28位)



2020年11月

- ・日本経済新聞社「第4回スマートワーク経営調査」で3つ星に認定
- ・日本経済新聞社「日経SDGs経営調査2020」で3.5星に評価
- ・日刊工業新聞社(経産省後援)「新型コロナ対応力ランキング」163位



2020年6月

- ・経産省「グローバルニッチトップ(GNT)企業100選」を連続受賞



**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。**

【お問い合わせ先】

エスベック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

**コーポレートコミュニケーション部 部長 西谷
IR担当 中川・大川**

Quality is more than a word

ESPEC